

(21) 行政系施設：庁舎等

1) 施設概要

本市の庁舎等は、21 施設あります。総延床面積は約 8 万㎡で、庁舎については市が保有する施設の 3.2%を占めています。

築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 11 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 8 施設、築 20 年以下が 2 施設です。

①施設一覧（平成 29 年 4 月 1 日現在）

窓口機能一覧

No	名称	行政区	建築年度	築年数	延床面積 (㎡)	複合施設				
						庁舎	公民館	図書室	児童館 (室)	その他
1	熊本市庁舎(中央区役所)	中央区	昭和 56 年	36	39,690.00	○				
2	市役所別館(駐輪場等)		昭和 60 年	32	3,600.00	○				※1
3	大江交流室		昭和 62 年	30	267.03	○	○		○	
4	東区役所	東区	平成 23 年	6	5,036.30	○				
5	託麻まちづくりセンター		昭和 55 年	37	329.41	○	○	○	○	
6	秋津まちづくりセンター		昭和 60 年	32	312.05	○	○	○	○	
7	東部まちづくりセンター		昭和 52 年	40	256.89	○	○	○	○	
8	西区役所	西区	平成 24 年	5	5,267.99	○	○	○	○	
9	河内まちづくりセンター		昭和 58 年	34	2,766.50	○				
10	河内まちづくりセンター芳野分室		昭和 58 年	34	190.09	○				※2
11	花園まちづくりセンター		平成 2 年	27	158.78	○	○	○	○	
12	南区役所	南区	平成 7 年	22	3,842.29	○				
13	鮑田まちづくりセンター		平成 8 年	21	1,066.02	○	○	○		
14	天明まちづくりセンター		平成 3 年	26	977.37	○	○	○	○	※3
15	幸田まちづくりセンター		昭和 57 年	35	265.49	○	○	○	○	
16	南部まちづくりセンター		昭和 62 年	30	278.57	○	○	○	○	
17	城南まちづくりセンター		昭和 59 年	33	4,782.90	○				
18	北区役所	北区	平成 3 年	26	5,988.30	○				
19	北部まちづくりセンター		平成元年	28	2,978.56	○	○	○		※4
20	清水まちづくりセンター		昭和 59 年	33	261.41	○	○	○	○	
21	龍田まちづくりセンター		昭和 54 年	38	346.25	○	○	○	○	
合計					78,662.20					

※1 4 階以下は有料駐輪場

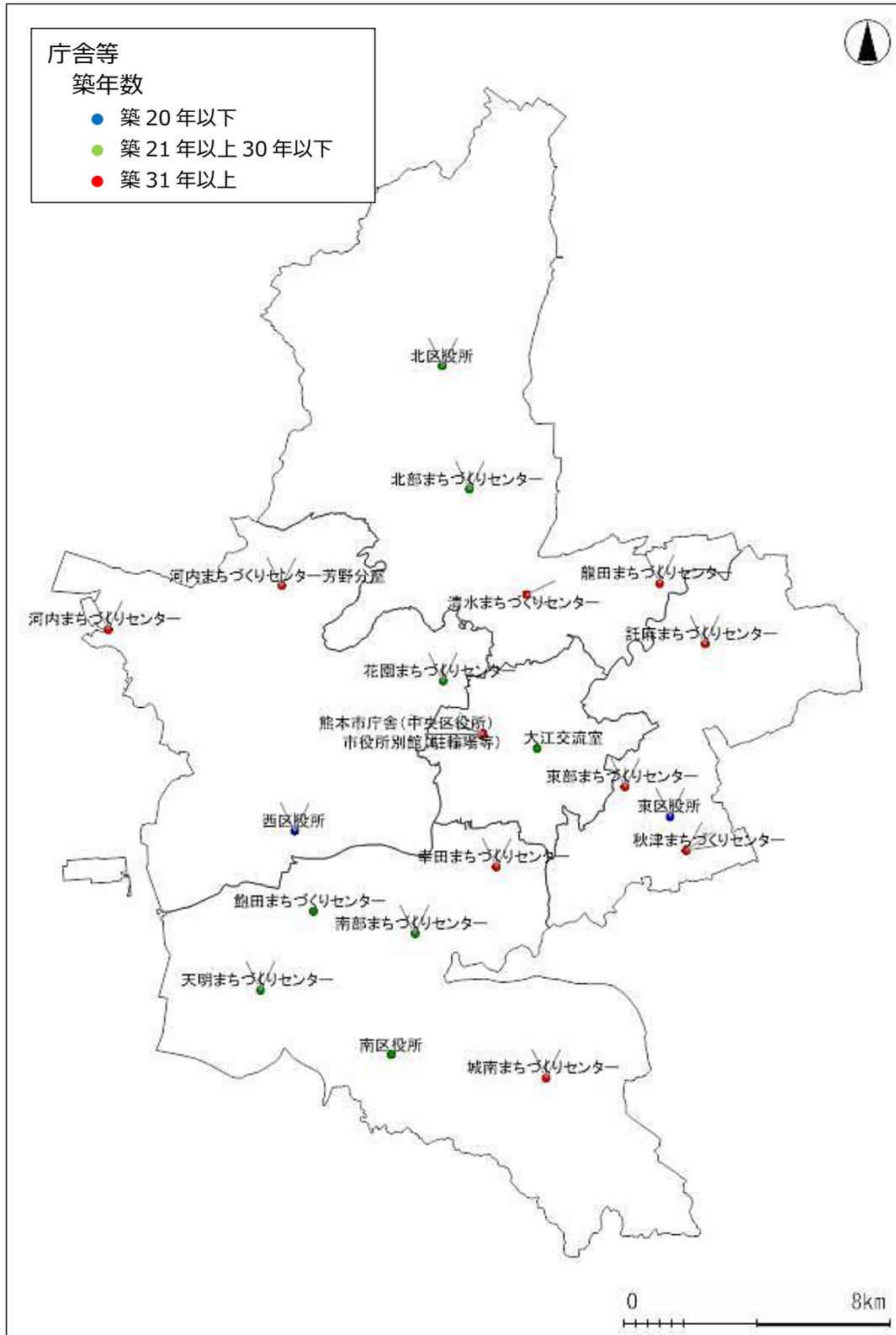
※2 芳野コミュニティセンター併設

※3 天明ホール併設

※4 北部土木センター併設

②配置状況

図表 施設配置図：全体（平成 29 年 4 月 1 日現在）



2) 実態把握

① 運営状況

庁舎開庁時間 8:30～17:15 【閉庁日 土日祝日・年末年始】

区役所・総合出張所・出張所・サービスコーナーで取り扱う主な業務（平成29年4月1日現在）

主な手続き		手続き場所			
		区役所	総合出張所	龍田出張所 ※1	サービス コーナー
住民関係					
住民票	住民票の写し、住民票記載事項証明(世帯全員・一部)	●	●	●	●
	除かれた住民票の写し(除票)	●	●	●	●
	不在住証明	●	●	●	×
戸籍関係 証明書	戸籍全部事項証明(戸籍謄本)、戸籍個人事項証明(戸籍抄本)	●	●	●	●
	戸籍附票(全部・一部)	●	●	●	▲ ※2
	除票、改正原戸籍、身分証明、届書受理証明、不在籍証明など特殊な証明	●	●	●	×
個人番号カード、通知カード、公的個人認証サービスに関すること		●	▲	▲	×
印鑑登録証明		●	●	●	●
印鑑登録		●	●	●	×
各種届出(転入・転出・転居・出生・死亡・婚姻など)		●	●	●	×
国民健康保険・後期高齢者医療保険・国民年金に関すること		●	●	●	×
税関係					
納税証明(市県民税・固定資産税・法人市民税・軽自動車税等)		●	●	●	×
所得・課税証明(市県民税)		●	●	●	●
固定資産税証明(資産・評価・公価・無資産)		●	●	●	×
自動車臨時運行許可、原付・小型特殊自動車の標識交付・廃車・名義変更		●	●	●	×
市税の収納		●	●	●	×
保健福祉・子育て関係					
保険料の収納(国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険)		●	●	×	×
要介護認定、さくらカード、り災証明に関すること		●	●	×	×
障がい福祉に関すること(重度心身障がい者医療費助成、障がい者手帳、療育手帳など)		●	●	×	×
自立支援医療に関すること(精神通院・更生医療)		●	●	×	×
生活保護に関すること		●	▲	×	×
ひまわりカード、児童手当・児童扶養手当、ひとり親医療、親子健康手帳に関すること		●	●	×	×
その他(福祉タクシー券、日常生活用具給付、有料道路割引、NHK受信料減免、改葬許可など)		●	●	×	×

※1 龍田出張所は平成30年4月1日から龍田総合出張所に変わります。

※2 現在の附票のみ

3) 熊本地震による影響

①施設の被害状況（平成 29 年 8 月時点）

No	名称	施設の復旧費用(千円)	復旧完了(予定)日	施設被害の概要
1	熊本市庁舎(中央区役所)	305,733	H30 年 3 月	被災度区分判定「中破」、議会棟議場天井の落下、行政棟議会棟の接続部の破損。
2	市役所別館(駐輪場)	60,317	H30 年 3 月	被災度区分判定「小破」、内壁の亀裂・タイルの欠損、外壁 PC パネルの亀裂。
3	古京町別館	56,451	H29 年 3 月 【解体】	被災度区分判定「大破」、内外壁の亀裂、屋根瓦の落下など。H28 年度に解体済。
4	中央区まちづくりセンター大江交流室	03 公民館分野に記載		
5	東区役所	21,513	H30 年 3 月	内外壁の亀裂、地盤沈下など
6	託麻まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
7	秋津まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
8	東部まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
9	西区役所	03 公民館分野に記載		
10	河内まちづくりセンター	233	H29 年 1 月	内装タイル・外部ブロック壁タイルの破損、地盤沈下など
11	河内まちづくりセンター芳野分室	05 その他集会施設分野に記載		
12	花園まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
13	南区役所	4,941	H29 年 3 月	移動式書架の倒壊、地盤沈下による外構の隆起・亀裂、屋外排水管の破損。
14	飽田まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
15	天明まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
16	幸田まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
17	南部まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
18	城南まちづくりセンター	472,341	H32 年度	被災度区分判定「小破」、内外壁の崩落・亀裂、旧議場の天井落下、建具の破損、漏水など。
19	北区役所	—	—	—
20	北部まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
21	清水まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
22	龍田まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
合計		662,532		

②避難所の開設状況

No	名称	避難所運営期間	避難者の 最大人数	避難者の 延べ人数
1	熊本市庁舎(中央区役所)	4月14日 ~ 4月30日	400	2,200
2	市役所別館(駐輪場)	—	—	—
3	古京町別館	—	—	—
4	中央区まちづくりセンター大江交流室	03 公民館分野に記載		
5	東区役所	4月14日 ~ 4月23日	600	2,390
6	託麻まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
7	秋津まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
8	東部まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
9	西区役所	03 公民館分野に記載		
10	河内まちづくりセンター	—	—	—
11	河内まちづくりセンター芳野分室	05 その他集会施設分野に記載		
12	花園まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
13	南区役所	4月16日 ~ 4月25日	100	300
14	飽田まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
15	天明まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
16	幸田まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
17	南部まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
18	城南まちづくりセンター	—	—	—
19	北区役所	4月14日 ~ 4月18日	220	376
20	北部まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
21	清水まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
22	龍田まちづくりセンター	03 公民館分野に記載		
合計			1,320	5,266

4) 既存計画の概要

第5次行財政改革計画（平成26年4月）【抜粋】

方針 1 市民のニーズに対応した質の高いサービスの提供

分野 1 質の高い区政サービスの提供

プログラム名 3 区役所・出張所のあり方とまちづくり推進体制の見直し

(実施概要)

- 区役所、出張所等のあり方及び機能再編について検討を行い、実施方針を策定する。
- まちづくり支援業務・公民館業務・児童館業務を一体的に担っているまちづくり交流室についても再整理し、まちづくり支援機能強化に向けた体制を整備する。
- 社会保障・税番号制度導入にあわせ、コンビニエンスストア等での証明書発行や区役所の市民が利用しやすい時間帯の開庁等の窓口利便性の向上を検討する。

(現状と課題)

(現状)

- 市民ニーズが多様化する中、区役所には総合的な行政サービスを提供するとともに、地域課題解決に向けたアドバイスを行うなどのまちづくりコーディネーターの役割が求められている。
- 区役所、出張所等の窓口サービスやその配置については、需要や費用対効果を検証し、効率化を図ることも必要となってきた。
- 公民館における学習活動の成果をまちづくり活動に生かすため、まちづくり交流室が公民館業務を担っている。

(課題)

- 政令指定都市に移行後2年が経過したことをうけ、区役所・出張所のあり方・役割を検証し、その機能や配置を見直すことにより、行政サービスを効果的、効率的、総合的に市民に提供する体制整備が必要である。
- まちづくり支援機能の強化を図る中で、本市の地域における社会教育振興拠点施設である公民館のあり方を検討する必要がある。

5) 総合管理計画における施設分野別方針

方針1

資産総量の適正化

- ・まちづくり支援機能の強化と出張所等の再編に基づき、まちづくり支援機能の強化を図るとともに各施設の利活用状況等も踏まえながら、今後の方針を検討します。
- ・公民館と一体的に利用されている施設も多いことから、公民館のあり方と併せて機能の見直しについて検討します。

方針2

施設の長寿命化の推進

- ・本庁舎については、今後、中長期保全策の検討を行い、大規模改修工事の実施によって、施設の長寿命化を図ります。

方針3

施設運営に要する総コストの削減

- ・花畑町別館については、庁内での慎重な検討を踏まえ、民間活力の活用を含め、跡地利用に関する方針を決定します。

(22) 行政系施設：その他行政系施設

1) 施設概要

本市のその他行政系施設は、9 施設あります。総延床面積は約 1 万㎡で、市が保有する施設の 0.5% を占めています。

築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 3 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 4 施設、築 20 年以下が 2 施設です。

①施設一覧（平成 29 年 4 月 1 日現在）

No	名 称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積 (㎡)	設置目的
1	ふれあい文化センター	中央区本荘 4 丁目 6 番 6 号	昭和 51 年	41	1,849.43	市民のふれあいと連携を図るとともに、その生活文化及び福祉の向上に資するため。
2	植木ふれあい文化センター	北区植木町宮原 912 番地	昭和 55 年	37	774.40	地域社会全体の中で福祉の向上及び人権啓発のための住民交流の拠点となる施設として、生活上の各種相談事業及び人権課題を解決するための各種事業を総合的に行うため。
3	森林学習館	北区貢町小萩	昭和 60 年	32	452.36	市民が森林とのふれあいを通じて緑化及び自然保護に対する意識の高揚を図るための学習、活動の場として設置
4	環境総合センター	東区画図町大字所島 404 番地 1	平成 6 年	23	4,270.85	環境の保全及び保健衛生の向上に対する意識の高揚を図るため
5	計量検査所	東区水源 2 丁目 1 番 4 号	平成元年	28	540.95	計量制度に基づき、定期検査や立入検査等を実施し、消費者保護や住民サービスの向上に寄与するため。
6	立田山憩の森管理センター	北区龍田陳内 2 丁目 43 番 23 号	平成 7 年	22	170.00	生活環境保全林「立田山憩の森」の保全維持管理をする管理人の常駐所、資材保管、機材設置のため
7	小島河川防災センター	西区小島 6 丁目 10 番 10 号	平成 14 年	15	580.80	河川における洪水時等における円滑かつ効果的な水防活動、緊急復旧活動等を行う拠点施設として設置
8	東部土木センター	東区佐土原 3 丁目 1 番 65 号	平成 27 年	3	2,148.06	行政庁舎
9	西部土木センター	西区蓮台寺 5 丁目 7 番 1 号	平成 2 年	27	2,579.50	行政庁舎
合 計					13,366.35	

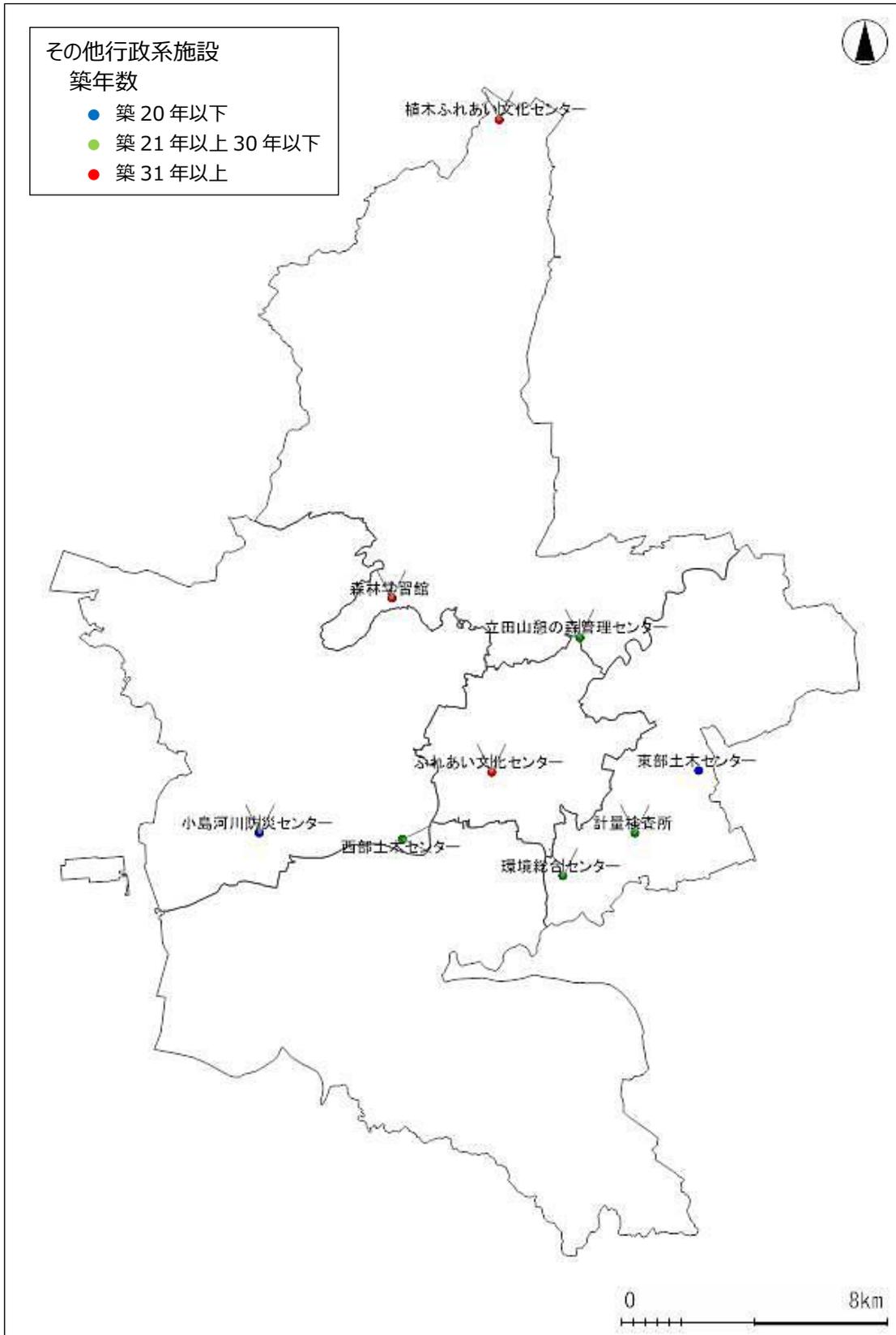
※ 北部土木センターについては、北部まちづくりセンター内に併設されています。

※ リサイクル情報プラザは熊本地震による被災により平成 28 年度末をもって廃止しました。

※ 熊本駅周辺事務所は熊本地震による被災により建物を解体し、事務所は移転しました。

②配置状況

図表 施設配置図：全体（平成 29 年 4 月 1 日現在）

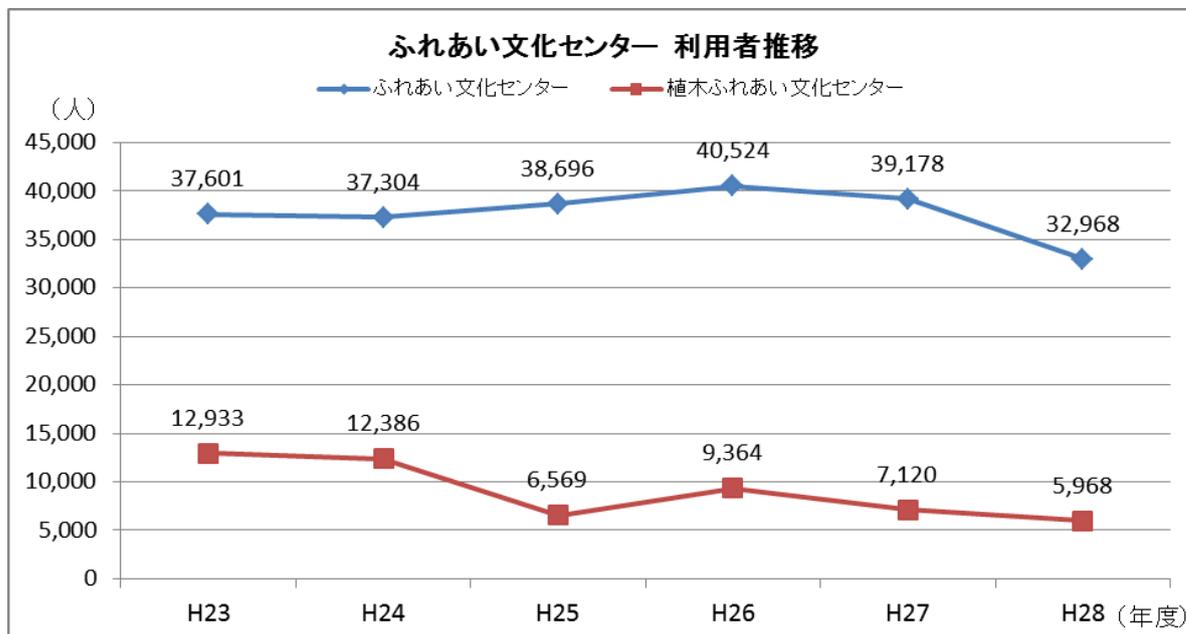


その他行政施設は、南区を除く市内に 9 施設配置されています。

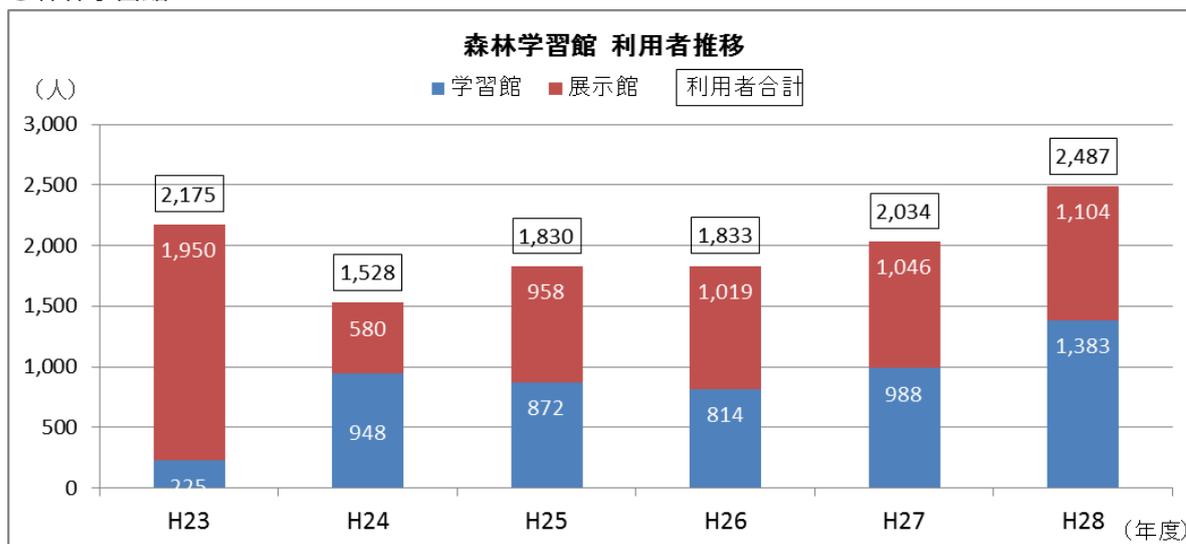
2) 実態把握

①各施設の利用状況（平成 23 年度から 28 年度）

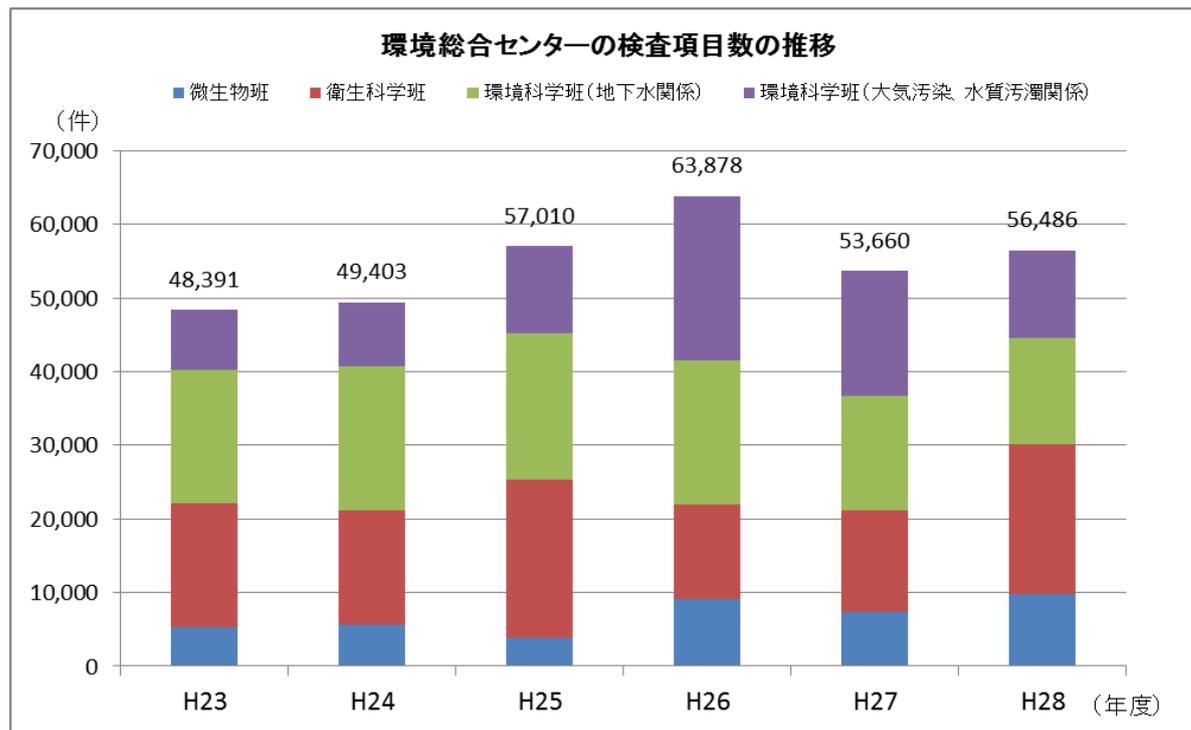
○ふれあい文化センター



○森林学習館



○環境総合センター



3) 熊本地震による影響

①施設の被害状況（平成 29 年 8 月時点）

No	名称	施設の復旧費用(千円)	復旧完了(予定)日	施設被害の概要
1	ふれあい文化センター	11,880	H30 年 3 月	大ホール内壁・天井の剥離、内外壁の亀裂。
2	植木ふれあい文化センター	—	—	—
3	森林学習館	—	—	—
4	リサイクル情報プラザ	22,280	【解体予定】	本館：玄関庇の落下、柱・壁の亀裂など。ストックヤード：シャッターの破損、壁面ボードの剥離落下など。地震後閉鎖、今後解体予定。
5	環境総合センター	8,667	H29 年 3 月	壁の亀裂、水道管・受水槽等の破損など。
6	計量検査所	—	—	—
7	立田山麴の森管理センター	—	—	—
8	小島河川防災センター	421	未定	地盤沈下。
9	熊本駅周辺整備事務所	85,700	H29 年 6 月	被災度区分判定：「中破」、内外壁・柱に亀裂、屋外階段接続部に損傷など。H29 年度に解体済。
10	東部土木センター	36,386	H30 年 3 月	内外壁の亀裂、空調機固定具の破損、換気扇の落下など。
11	西部土木センター	988	H29 年 3 月	増築部との接続部分に隙間、内壁に亀裂。
合計		166,256		

②避難所の開設状況（避難所を開設した施設のみ記載）

No	名称	避難所運営期間	避難者の最大人数	避難者の延べ人数
1	ふれあい文化センター	4 月 14 日 ~ 5 月 11 日	130	1,341
2	環境総合センター	4 月 14 日 ~ 4 月 15 日	20	20
合計			150	1,361

4) 総合管理計画における施設分野別方針

方針 1	資産総量の適正化
<ul style="list-style-type: none"> 単体で設置されている施設については、老朽化の状況を踏まえながら、他施設との統合や機能移転について長期的な視点で検討します。 他の公共施設との機能の重複や市域内での配置状況を踏まえ、老朽化が進んだ際には施設の廃止、跡地の売却等について検討します。 	

(23) 行政系施設：消防施設

1) 施設概要

本市の消防庁舎施設は、消防庁舎が 21 施設、消防団機械倉庫が 161 施設、合計 182 施設あり、消防団機械倉庫のうち、集会施設機能を持つ消防コミュニティセンターは 82 施設あります。延床面積は消防庁舎が約 2 万㎡、消防団機械倉庫が約 7 千㎡（このうち、消防コミュニティセンターが約 5 千㎡）です。総延床面積は約 3 万 1 千㎡で、消防施設全体で市が保有する施設の 1.2%を占めています。

消防庁舎の築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 8 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 5 施設、築 20 年以下が 8 施設です。また、消防コミュニティセンターの築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 4 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 46 施設、築 20 年以下が 32 施設です。

消防庁舎には、消防・救急関係車両が合計で 132 台配備されていますが、消防コミュニティセンターにも小型可搬ポンプ付積載車またはポンプ車が配備されています。

①施設一覧（平成 29 年 4 月 1 日現在）

消防庁舎

No	名 称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積 (㎡)	消防・ 救急配備 車両数	職員数 (嘱託・臨時 職員含む)	備 考
1	市消防局・中央消防署	中央区大江 3 丁目 1 番 3 号	昭和 59 年	33	7,768.84	27	77	
2	南熊本庁舎	中央区南熊本 3 丁目 8 番 25 号	昭和 55 年	37	250.44	2	11	
3	出水出張所	中央区水前寺公園 13 番 40 号	昭和 55 年	37	245.25	3	21	
4	東消防署	東区東町 4 丁目 6 番 17 号	昭和 53 年	39	2,487.43	13	68	
5	託麻出張所	東区下南部 1 丁目 3 番 137 号	平成 9 年	20	419.81	3	21	
6	小山出張所	東区小山 4 丁目 4 番 22 号	平成 6 年	23	409.97	4	19	
7	西消防署	中央区米屋町 1 丁目 12 番地 1	昭和 62 年	30	2,822.19	13	71	
8	池田庁舎	西区池田 2 丁目 4 番 43 号	昭和 63 年	29	322.53	2	11	
9	田崎出張所	西区田崎 2 丁目 2 番 36 号	平成 3 年	26	408.80	4	19	
10	小島出張所	西区小島 8 丁目 10 番 20 号	昭和 56 年	36	251.74	3	19	
11	島崎出張所	西区島崎 2 丁目 17 番 23 号	平成 16 年	13	529.66	3	21	
12	河内出張所	西区河内町大字野出 1891 番地 1	昭和 59 年	33	368.83	5	19	
13	南消防署	南区平田 2 丁目 13 番 1 号	平成 25 年	4	1,766.54	13	68	
14	川尻出張所	南区南高江 2 丁目 15 番 53 号	昭和 53 年	39	262.90	3	21	
15	飽田天明出張所	南区白石町 385 番地 1	昭和 59 年	33	368.88	4	23	
16	富合出張所	南区富合町田尻 445 番地 5	平成 25 年	4	414.75	3	19	
17	城南出張所	南区城南町さんさん 1 丁目 1 番地 1	平成 27 年	2	414.67	3	20	
18	北消防署	北区四方寄町 514 番地 1	平成 27 年	2	1,839.25	13	67	
19	清水出張所	北区清水亀井町 12 番 22 号	平成 5 年	24	407.82	3	19	
20	楠出張所	北区楠 5 丁目 7 番 60 号	平成 22 年	7	478.00	3	21	
21	植木出張所	北区植木町山本 739 番地 2	平成 12 年	17	1,306.55	5	21	
合 計					23,544.85	132	656	

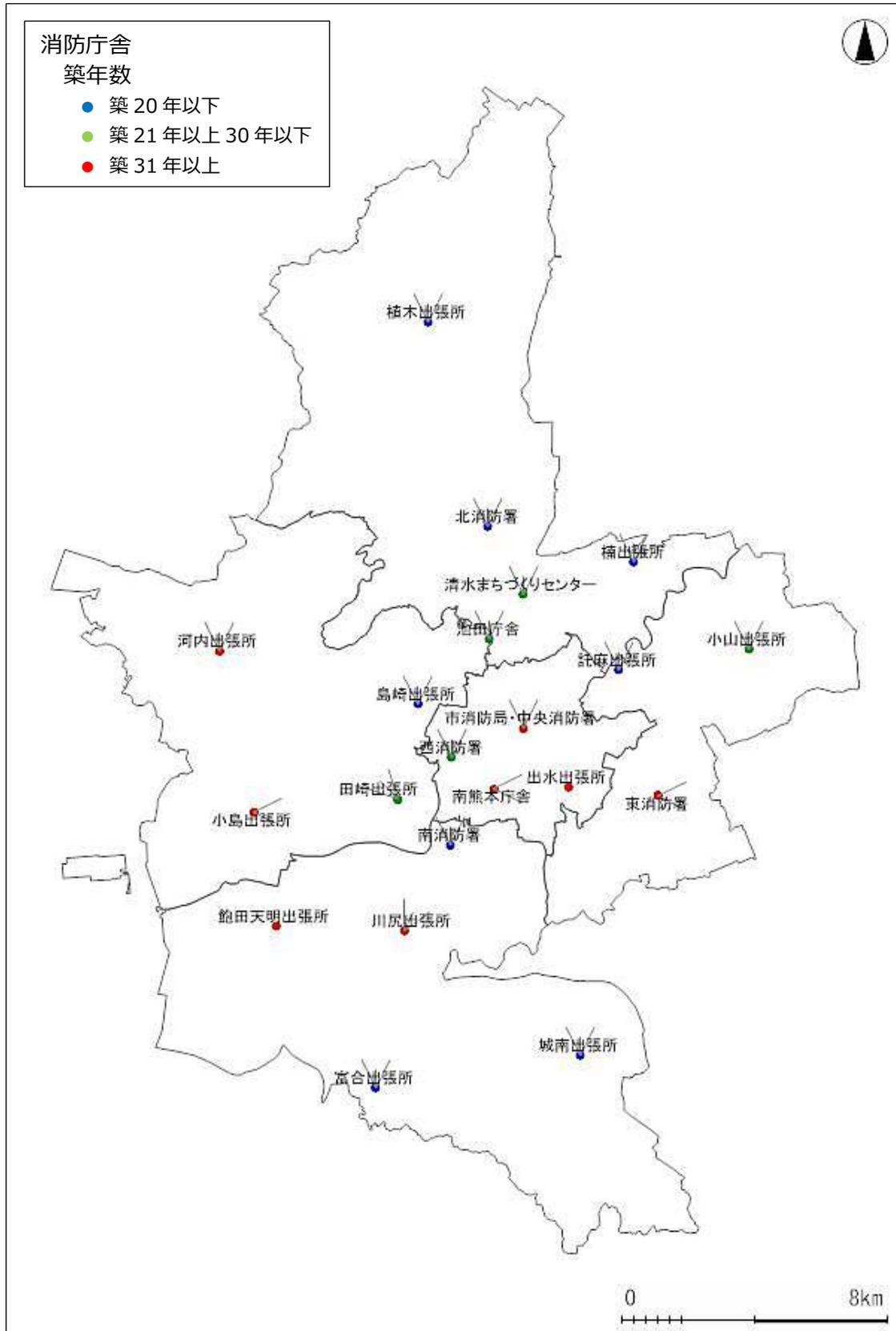
消防コミュニティセンター

No	名 称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積(㎡)
1	消防団第1分団2部(秋津校区)機械倉庫	東区沼山津2丁目1518番地3	平成13年	16	54.67
2	消防団第2分団(若葉校区)機械倉庫	東区若葉6丁目6番29号	平成6年	23	54.67
3	消防団第3分団(泉ヶ丘校区)機械倉庫	東区水源2丁目1番4号	平成3年	26	54.67
4	消防団第4分団(健軍校区)機械倉庫	東区健軍本町16番地	平成2年	27	54.67
5	消防団第5分団(尾ノ上校区)機械倉庫	東区京塚本町1774番地7	平成14年	15	54.67
6	消防団第6分団(西原校区)機械倉庫	東区保田窪本町9番地	平成4年	25	54.66
7	消防団第7分団(帯山校区)機械倉庫	中央区帯山1丁目2186番地3	平成19年	10	56.4
8	消防団第8分団(砂取校区)機械倉庫	中央区神水本町45番地1	平成9年	20	63.5
9	消防団第9分団3部(画図校区)機械倉庫	東区画図町下無田1695番地	平成4年	25	54.67
10	消防団第11分団(白山校区)機械倉庫	中央区白山2丁目6番6号	平成元年	28	54.67
11	消防団第12分団2部(白川校区)機械倉庫	中央区九品寺4丁目23番15号	平成20年	9	54.68
12	消防団第13分団(大江校区)機械倉庫	中央区大江6丁目1番11号	昭和63年	29	54.67
13	消防団第14分団(託麻原校区)機械倉庫	中央区渡鹿4丁目617番2号	平成6年	23	54.67
14	消防団第15分団(慶徳校区)機械倉庫	中央区山崎町72番地	平成10年	19	68
15	消防団第16分団(城東校区)機械倉庫	中央区中央街12番6号	平成3年	26	91.2
16	消防団第17分団(碩台校区)機械倉庫	中央区北千反畑町5番地30	平成11年	18	71.4
17	消防団第18分団(壺川校区)機械倉庫	中央区壺川1丁目322番地30	平成5年	24	54.67
18	消防団第20分団2部(池田校区)機械倉庫	西区池田2丁目666番地	平成19年	10	54.67
19	消防団第21分団1部(高平台校区)機械倉庫	北区高平1丁目749番2号	平成元年	28	54.68
20	熊本市消防団第22分団2部(黒髪校区)機械倉庫	中央区黒髪6丁目397番地2	平成4年	25	54.66
21	消防団第23分団(清水校区)機械倉庫	北区兎谷1丁目617番1号の内	平成16年	13	54.67
22	消防団第24分団(城北校区)機械倉庫	北区清水新地2丁目619番1号	昭和53年	39	54.67
23	消防団第24分団(城北校区)機械倉庫	北区清水新地2丁目619番1号	平成17年	12	54.67
24	消防団第25分団2部(龍田校区)機械倉庫	北区龍田7丁目40番1号	平成2年	27	54.67
25	消防団第26分団1部(託麻北校区)機械倉庫	東区石原2丁目459番地2	平成7年	22	64.13
26	消防団第27分団(託麻西校区)機械倉庫	東区御領2丁目516番地3	平成16年	13	54.67
27	消防団第28分団1部(託麻東校区)機械倉庫	東区戸島5丁目3984番地4	平成13年	16	54.67
28	消防団第29分団1部(御幸校区)機械倉庫	南区御幸苗田6丁目2056番2号	昭和63年	29	54.67
29	消防団第30分団(田迎校区)機械倉庫	南区田迎3丁目115番4号	平成12年	17	71.4
30	消防団第31分団2部(春竹校区)機械倉庫	中央区南熊本1丁目3番3号	昭和63年	29	54.67
31	消防団第32分団(本荘校区)機械倉庫	中央区本荘4丁目2番地1	昭和62年	30	54.67
32	消防団第33分団1部(向山校区)機械倉庫	中央区本山4丁目352番地	平成8年	21	54.68
33	消防団第34分団2部(白坪校区)機械倉庫	西区蓮台寺5丁目674番地1	平成8年	21	54.67
34	消防団第35分団(古町校区)機械倉庫	西区二本木2丁目311番12号	平成元年	28	54.67
35	消防団第36分団(春日校区)機械倉庫	西区春日6丁目507番地1	平成22年	7	57.11
36	消防団第38分団(一新校区)機械倉庫	中央区新町1丁目10番85号	平成9年	20	65.47
37	消防団第39分団(城西校区)機械倉庫	西区島崎5丁目404番地	平成20年	9	54.3
38	消防団第40分団1部(池上校区)機械倉庫	西区谷尾崎町439番地2	平成5年	24	54.67
39	消防団第41分団(高橋校区)機械倉庫	西区高橋町1丁目88番地	平成元年	28	54.67
40	消防団第42分団3部(城山校区)機械倉庫	西区城山半田4丁目423番地1	平成8年	21	54.67

No	名 称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積(m ²)
41	消防団第 43 分団(松尾東校区)機械倉庫	西区上松尾町 2847 番地 1	平成 2 年	27	57.7
42	消防団第 44 分団 1 部(松尾西校区)機械倉庫	西区西松尾町 3873 番地 1	平成 4 年	25	54.67
43	消防団第 46 分団 3 部(小島校区)機械倉庫	西区小島下町字高古閑 4212 番地	平成 3 年	26	56.3
44	消防団第 47 分団 4 部(中島校区)機械倉庫	西区沖新町字下塘 3996 番地 4	昭和 62 年	30	54.67
45	消防団第 48 分団 1 部(日吉校区)機械倉庫	南区日吉 2 丁目 1140 番地	平成 3 年	26	54.67
46	消防団第 49 分団 1 部(力合校区)機械倉庫	南区島町 5 丁目 1112 番地 1	昭和 63 年	29	54.67
47	消防団第 50 分団 1 部(川尻校区)機械倉庫	南区川尻 4 丁目 764 番地	平成 5 年	24	54.67
48	消防団第 51 分団(楠校区)機械倉庫	北区楠 5 丁目 1 番 5 号	平成 18 年	11	54.67
49	消防団第 52 分団(東町校区)機械倉庫	東区佐土原 3 丁目 3503 番 2 号	平成 15 年	14	54.67
50	消防団第 53 分団(桜木校区)機械倉庫	東区桜木 2 丁目 4 番 13 号	平成 18 年	11	52.04
51	消防団第 54 分団(麻生田校区)機械倉庫	北区麻生田 2 丁目 1164 番地	平成 8 年	21	54.67
52	消防団第 55 分団(月出校区)機械倉庫	東区山ノ内 2 丁目 3024 番地 6	平成 23 年	6	54.14
53	消防団第 56 分団(武蔵校区)機械倉庫	北区武蔵ヶ丘 3 丁目 1812 番地 42	平成 15 年	14	54.67
54	消防団第 57 分団(田迎南校区)機械倉庫	南区良町 2 丁目 1181 番地 1	平成 14 年	15	54.67
55	消防団第 58 分団(弓削校区)機械倉庫	北区龍田町弓削 1002 番地	平成 14 年	15	54.67
56	消防団第 59 分団(託麻南校区)機械倉庫	東区長嶺東 4 丁目 1156 番地 3	平成 2 年	27	54.67
57	消防団第 60 分団(城南校区)機械倉庫	南区南高江 1 丁目 762 番 2 号	平成 15 年	14	54.67
58	消防団第 62 分団 3 部(飽田東校区)機械倉庫	南区浜口町字中才蓮 76 番地 8	平成 24 年	5	57.1
59	消防団第 63 分団 2 部(飽田南校区)機械倉庫	南区護藤町字小藤 1141 番地 2	平成 5 年	24	54.67
60	消防団第 64 分団(飽田西校区)機械倉庫	南区畠口町北屋敷 64 番地 1	平成 12 年	17	54.67
61	消防団第 65 分団 1 部(中緑校区)機械倉庫	南区中無田御供田 734 番地	平成元年	28	49.2
62	消防団第 65 分団 2 部(中緑校区)機械倉庫	南区美登里町北ノ内 724 番地 2	平成元年	28	49.2
63	消防団第 66 分団 1 部(銭塘校区)機械倉庫	南区銭塘町西本田 1301 番地 2	平成元年	28	49.2
64	消防団第 66 分団 2 部(銭塘校区)機械倉庫	南区内田町三反田 2213 番地 3	平成元年	28	49.2
65	消防団第 66 分団 3 部(銭塘校区)機械倉庫	南区内田町西 892 番地 2	平成元年	28	49.2
66	消防団第 67 分団 1 部(奥古閑校区)機械倉庫	南区奥古閑町五町田 1902 番地 7	平成元年	28	49.2
67	消防団第 67 分団 2 部(奥古閑校区)機械倉庫	南区奥古閑町字永開 4328 番地	平成元年	28	49.2
68	消防団第 67 分団 4 部(奥古閑校区)機械倉庫	南区海路口町浦田一番割 3299 番地 2	平成元年	28	49.2
69	消防団第 69 分団 1 部(川口校区)機械倉庫	南区川口町古堤 4538 番地 24	平成元年	28	49.2
70	消防団第 69 分団 2 部(川口校区)機械倉庫	南区川口町字前 1017 番地 5	平成元年	28	49.2
71	消防団第 70 分団 1 部(河内校区)機械倉庫	西区河内町船津 2069 番地 3	平成 12 年	17	54.67
72	消防団第 71 分団 3 部(芳野校区)機械倉庫	西区河内町東門寺字外鶴 494 番地 1	平成 6 年	23	54.68
73	消防団第 72 分団 2 部(川上校区)機械倉庫	北区明德町 953 番地 2	昭和 58 年	34	45.73
74	消防団第 72 分団 4 部(川上校区)機械倉庫	北区鹿子木町塔ノ本 57 番地 4	平成 2 年	27	68.04
75	消防団第 72 分団 4 部(川上校区)機械倉庫	北区鹿子木町塔ノ本 53 番地 1	平成 21 年	8	57.11
76	消防団第 73 分団 1 部(北部東校区)機械倉庫	北区梶尾町 340 番地	昭和 53 年	39	53.1
77	消防団第 73 分団 2 部(北部東校区)機械倉庫	北区鶴羽田 5 丁目 918 番地 2 の一部	平成 13 年	16	54.67
78	消防団第 74 分団 1 部(西里校区)機械倉庫	北区下硯川 1 丁目 1450 番地 9	平成 7 年	22	54.68
79	消防団第 77 分団(隈庄校区)機械倉庫②	南区城南町宮地 1041	平成 22 年	7	140.1
80	消防団第 78 分団(豊田校区)機械倉庫	南区城南町塚原 82 番地 3	平成 26 年	3	57.1
81	消防団第 85 分団 6 部(吉松校区)機械倉庫	北区植木町平井 560 番地 1	昭和 55 年	37	53.4
82	消防団第 86 分団 4 部(山本校区)機械倉庫	北区植木町清水字松ノ本 567 番地 1	平成 25 年	4	57.1
合 計					4642.73

②配置状況

図表 施設配置図：全体（平成 29 年 4 月 1 日現在）



消防庁舎は、市内に 21 施設設置されています。

2) 熊本地震による影響

①施設の被害状況（平成 29 年 8 月時点）

（消防庁舎）

No	名称	施設の復旧費用(千円)	復旧完了(予定)日	施設被害の概要
1	市消防局・中央消防署	260,889	H32 年度中	被災度区分判定:「中破」、内外壁に亀裂、建具の破損など。
2	南熊本庁舎	—	—	—
3	出水出張所	1,823	H29 年 3 月	建具・内外壁の破損。
4	東消防署	131,076	H30 年 11 月	被災度区分判定:「小破」、庁舎:基礎部に亀裂、訓練棟:内外壁に亀裂、地盤沈下による給水管の破損など。
5	託麻出張所	211	H29 年 3 月	内外壁の亀裂など。
6	小山出張所	887	H29 年 3 月	内外壁の亀裂、屋根瓦・給排水管等の破損。
7	西消防署	1,590	H29 年 3 月	内外壁の亀裂、国旗掲揚ポールの破損、地盤沈下など。
8	池田庁舎	983	H29 年 3 月	内外壁の亀裂。
9	田崎出張所	10,828	H30 年 3 月	車庫シャッターの破損、外壁及びブロック塀の破損。
10	小島出張所	2,242	H29 年 3 月	地盤沈下、屋外給水管・屋内配水管の破損。
11	島崎出張所	1,185	H29 年 3 月	内外壁の亀裂、地盤沈下。
12	河内出張所	1,266	H29 年 3 月	内外壁の亀裂、空調機の故障。
13	南消防署	1,512	H29 年 3 月	内外壁の亀裂など。
14	川尻出張所	2,445	H30 年 9 月	給排水管・雨水配管・空調室外機の破損、庁舎内床面に段差、地盤沈下。
15	飽田出張所	—	—	—
16	富合出張所	959	H29 年 3 月	内外壁の亀裂など。
17	城南出張所	22,185	H30 年度中	内外壁の亀裂、車庫シャッター・空調機の破損。
18	北消防署	989	H30 年 3 月	内外壁の亀裂など。
19	清水出張所	865	H29 年 3 月	内外壁の亀裂、給湯管の破損。
20	楠出張所	1,426	H29 年 3 月	内外壁の亀裂、地盤沈下など。
21	植木出張所	49	H29 年 3 月	内外壁の亀裂。
合計		442,438		

(消防コミュニティセンター・消防倉庫)

No	名称	施設の復旧費用(千円)	復旧完了(予定)日	施設被害の概要
1	第 32 分団(本荘校区)機械倉庫	129	H29 年 3 月	屋根の漏水。
2	第 48 分団第 1 部(日吉校区)機械倉庫	27,282	H31 年 3 月	液状化現象による不同沈下のため、建物及びホース乾燥棟に傾き。
3	第 76 分団機械倉庫	208	H29 年 3 月	外壁・シャッターの破損など。
4	第 1 分団(秋津校区)機械倉庫	265	H29 年 3 月	ガス管の破損など。
5	第 5 分団(尾ノ上校区)機械倉庫	49	H29 年 3 月	外壁の破損。
6	第 11 分団(白山校区)機械倉庫	291	H29 年 3 月	外壁・シャッターの破損。
7	第 35 分団(古町校区)機械倉庫	63	H29 年 3 月	基礎・外壁の破損など。
8	第 41 分団(高橋校区)機械倉庫	162	H29 年 3 月	基礎の破損。
9	第 46 分団(小島校区)機械倉庫	98	H29 年 3 月	基礎の破損。
10	第 61 分団(出水南校区)機械倉庫	97	H29 年 3 月	外壁の破損。
11	第 63 分団(飽田南校区)機械倉庫	50	H29 年 3 月	外壁の破損。
12	第 69 分団(川口校区)機械倉庫	411	H29 年 3 月	基礎の破損。
13	第 69 分団(川口校区)機械倉庫	389	H29 年 3 月	基礎の破損。
14	第 76 分団(杉上校区)機械倉庫	104	H29 年 9 月	屋根の漏水。
15	第 77 分団(隈庄校区舞原)機械倉庫	411	H29 年 10 月	基礎の破損。
合計		30,009		

②避難所の開設状況(避難所を開設した施設のみ記載)

No	名称	避難所運営期間	避難者の最大人数	避難者の延べ人数
1	市消防局・中央消防署	4 月 14 日 ~ 5 月 28 日	200	1,277
2	西消防署	4 月 14 日 ~ 4 月 18 日	298	415
合計			498	1,692

3) 既存計画の概要

第5次行財政改革計画(消防団との連携強化)

【方針】 1 市民のニーズに対応した質の高いサービスの提供

【分野】 3 市民サービスの改革と充実

【プログラム名】 20 消防団との連携強化

【実施概要】

- ◆ 消防局が目指す1区1消防署体制に合わせて、消防団組織（方面隊）についても区単位で順次再編成を行う。

【現状と課題】

(現状)

- ◆ 常備消防（消防局）においては、1区1消防署体制の構築に向けて準備を進めているが、非常備消防（消防団）については、16の方面隊を組織し、区を越えて活動を行なっている。

(課題)

常備消防及び非常備消防の組織体制を整理し、区を基本とした連携体制の充実・強化を図る必要がある。

【実施スケジュール】

実施項目	年度	状況	取組内容等
南消防署の整備	H26	完了	平成26年4月1日に南消防署を開設し、南区においては1区1消防署体制を構築した。
北消防署の整備	H26	準備	基本・実施設計を実施し、平成27年8月31日の工事完了日に向け本体工事に着手した。
	H27	完了	H27年8月31日に工事を完了。H27年9月24日から北部出張所として運用開始。H28年4月から北消防署として開設し、1区1消防署体制を構築した。
消防団との連携体制の充実・強化	H27	継続	H27年度は、各方面隊において、各区及び常備消防との連携を密にするとともに、市総合防災訓練への参加（参加者約150名）や通常点検大会の訓練（参加者約750名）を実施し、災害時における地域防災力の充実強化を図った。
	H28	継続	北区に北消防署を新設したことにより、全ての行政区ごとで区役所、常備消防、消防団の連携が更に密接となる。区ごとの防災会議等を開催し、情報共有や災害時の連携体制の強化を図っていく。

4) 総合管理計画における施設分野別方針

方針1

資産総量の適正化

- ・消防署及び各出張所については、平成28年度から新たな署所体制がスタートしたことから、実際の運営状況を検証しながら、長期的な視点で効率的かつ効果的な配置について検討を進めます。
- ・特に西消防署の配置については、出張所の再編と併せて検討することとし、老朽化した出張所のあり方を含め、全市的な視点で計画的に取り組んでいきます。

方針2

施設の長寿命化の推進

- ・消防署や出張所はもとより、消防コミュニティセンターや機械倉庫についても、不具合の改善に努め、安全に長く使用できるよう、日常のメンテナンスに努めます。

5) 参考：消防広域化について

①熊本市消防局の概要

熊本市消防局は、九州のほぼ中央に位置し、熊本市だけでなく、消防事務を受託している益城町及び西原村を管轄しています。

管轄人口約 77 万人、管轄面積約 533k m²に、1 本部、6 消防署、15 出張所、2 庁舎を配置し、地域住民の安全・安心の確保に努めています。

②広域化に至る経緯

平成 18 年 6 月の消防組織法の一部改正に基づき、熊本県は平成 20 年 5 月に、県内を城北、中央、城南、天草の 4 つのブロックに分けて広域化を目指すとした「熊本県消防広域化推進計画」を策定しました。

この計画を受け、熊本市消防局（熊本市）、高遊原南消防本部（益城町、西原村）など 4 つの消防本部から構成された中央ブロックは、平成 21 年 11 月に「中央ブロック消防広域化協議会」を設置し、広域化の効果や財政シミュレーションなど、広域化に向けた様々な検討を行いました。その結果、平成 25 年 3 月の第 10 回協議会において、益城町、西原村の熊本市への事務委託方式による広域化について最終合意し、平成 26 年 4 月 1 日から広域化を開始しました。

③広域化の効果

○現場部隊の増強

消防本部機能の統合によって、管理部門の人員を減らすことができたため、警防人員を拡充しました。西原村の西原出張所は、従来は救急車のみの 8 時間運用でしたが、広域化後は人員を増やして、ポンプ車も配備したうえで 24 時間運用となりました。

○初動部隊の増強

益城町、西原村の災害に対する初動部隊について、熊本市域の消防署所からも出場することとして増強を行いました。例えば、通常の建物火災では、従来は 3 隊が出場していましたが、広域化後は 7 隊となりました。

○現場到着時間の短縮

熊本市消防局の指令管制システムを活用して、119 番通報から出場までの時間を短縮しました。また、出場してから現場到着までの時間についても、最寄りの消防署所から出場することとしており、益城町や西原村だけでなく熊本市においても、特に境界付近のエリアにおいて時間を短縮しました。

○災害規模に応じた対応力強化

益城町、西原村においても、災害規模に応じて、熊本市消防局の部隊の追加投入が可能となりました。

(24) 供給処理施設

1) 施設概要

本市の供給処理施設は、8施設あります。総延床面積は約5万㎡で、市が保有する施設の2.0%を占めています

築年数の状況は、築31年以上の施設が2施設、築21年以上 築30年以下が3施設、築20年以下が3施設です。

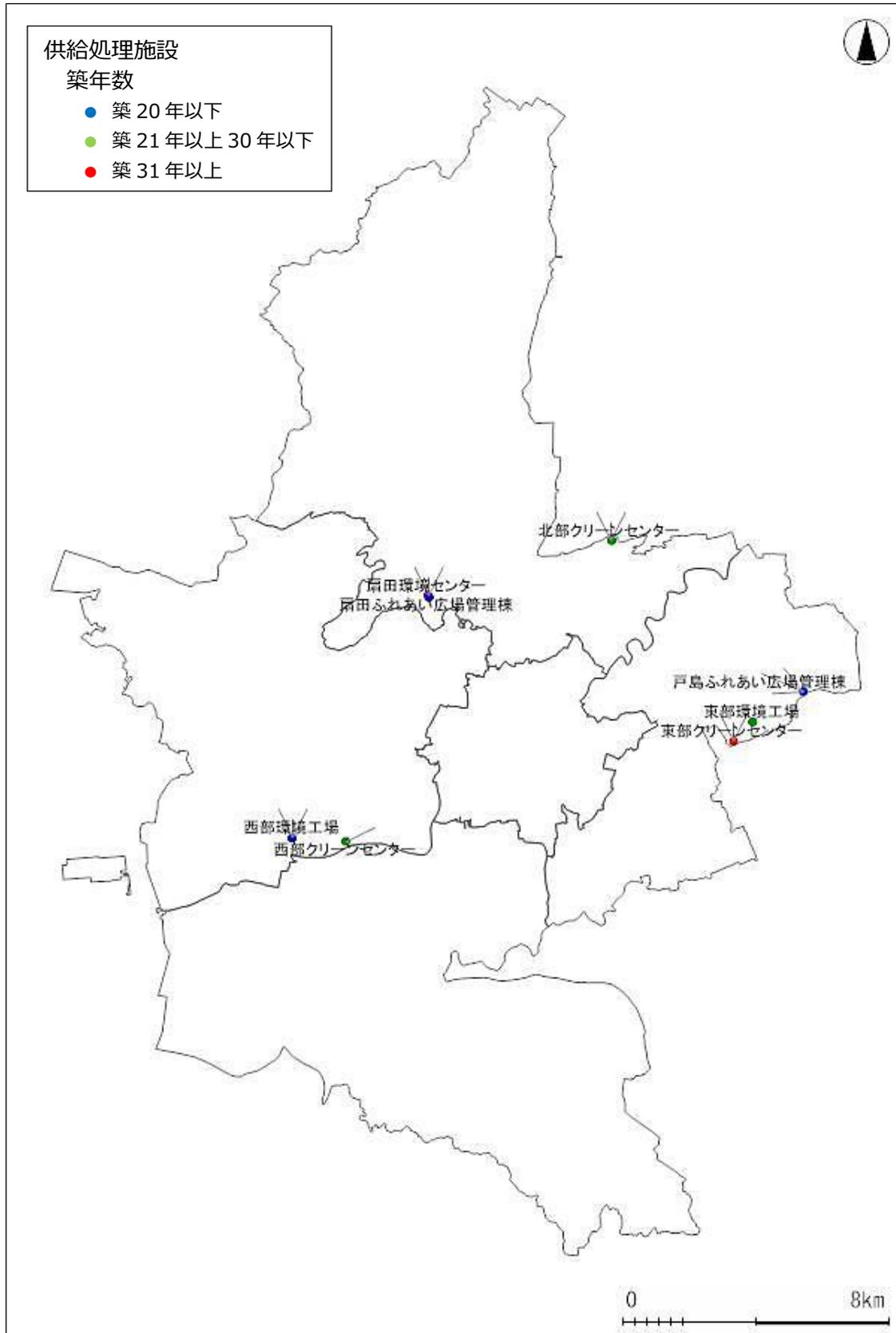
①施設一覧（平成29年4月1日現在）

No	名称	所在地	建築年度	築年数	延床面積 (㎡)	備考
1	西部環境工場	西城区山薬師2丁目12番1号	平成27年	2	12,723.52	一般廃棄物処理施設 処理能力:140(t/日)×2炉
2	東部環境工場	東区戸島町2570番地	平成6年	23	25,970.10	一般廃棄物処理施設 処理能力:300(t/日)×2炉
3	扇田環境センター	北区釜尾町439番地2	昭和58年	34	3,877.92	廃棄物埋立処分場
4	北部クリーンセンター	北区清水新地7丁目9番1号	昭和62年	30	2,202.72	
5	西部クリーンセンター	西城区山半田2丁目1番1号	昭和63年	29	2,341.97	
6	東部クリーンセンター	東区戸島西7丁目3番1号	昭和61年	31	1,635.73	
7	戸島ふれあい広場管理棟	東区戸島町1489番地	平成25年	4	272.00	旧埋立処分場
8	扇田ふれあい広場管理棟	北区釜尾町811番地	平成25年	4	191.69	旧埋立処分場
合 計					49,215.65	

※秋津浄化センターは熊本地震による被災によりし尿処理が出来なくなったため、現在は東部浄化センターで処理しています。

②配置状況

図表 施設配置図：全体（平成 29 年 4 月 1 日現在）

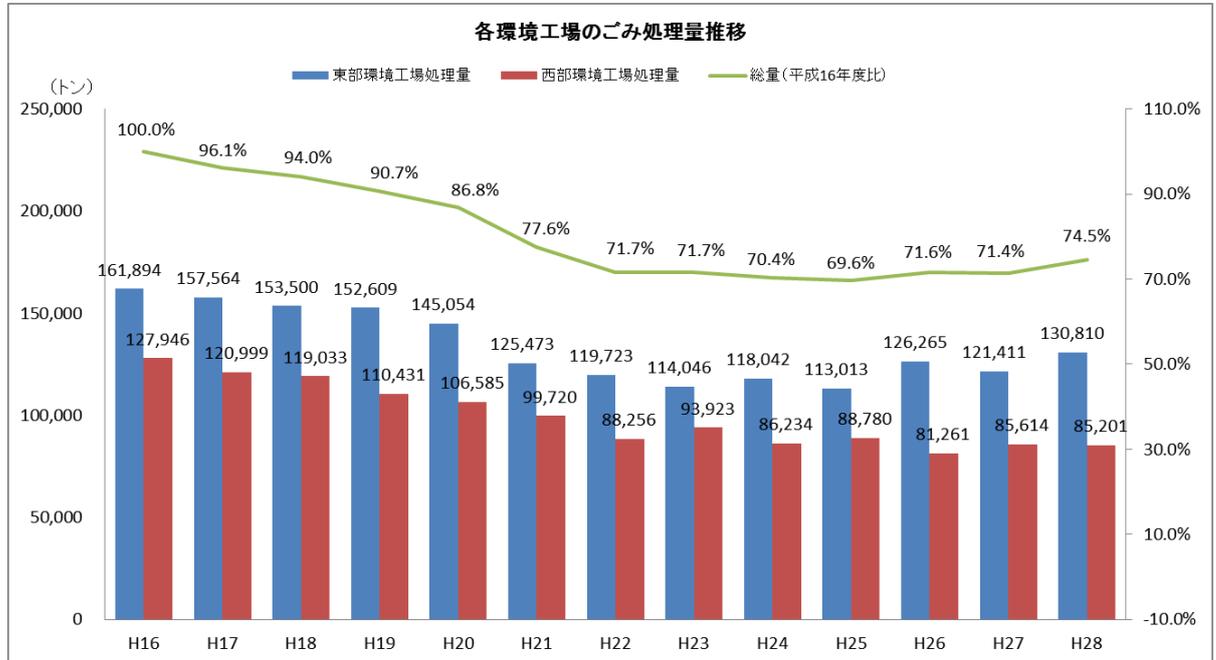


供給処理施設は市内に 8 施設整備されています。

③ごみ処理の状況

燃やすごみは、東部環境工場と西部環境工場で焼却処理を行っており、平成 16 年度のごみ処理量を 100%とすると、平成 21 年以降は 70%台で推移しています。平成 28 年度は熊本地震の影響で微増しています。

図表 各環境工場のごみ処理量推移



- ・紙類を平成 20 年、プラスチック類を平成 22 年より再資源化に移行したことにより焼却量は大幅に減少しています。
- ・平成 26 年度より城南地区の燃やすごみは、東部環境工場にて処理しています。
- ・植木地区の燃やすごみは山鹿・植木広域行政組合クリーンセンターにて別途焼却処理しています。

④ し尿処理の状況

し尿の受け入れは、平成 26 年度以降、下記の施設（宇城広域連合浄化センターを除く）で行っています。秋津浄化センターは、熊本地震で被災し受け入れ困難となったため、以降は東部浄化センター（下水処理場）で受け入れ・処理しています。

図表 処理施設別し尿処理量推移

(単位：k l)

処理施設	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
秋津浄化センター	14,065.1	14,155.8	19,681.1	18,301.9	733.6
東部浄化センター					18,098.7
中部浄化センター	34,226.2	31,710.5	34,919.1	33,951.7	33,453.1
宇城広域連合浄化センター	11,464.6	10,835.7			
山鹿衛生処理センター	19,929.3	19,568.8	18,694.3	18,908.9	18,419.0
計	79,685.2	76,270.8	73,294.5	71,162.5	70,704.4

※宇城広域連合浄化センターで受け入れていた旧富合町と旧城南町のし尿については、平成 26 年度より秋津（東部）浄化センター及び中部浄化センターで受け入れています。

2) 実態把握

①コスト状況（平成 28 年度）

図表 家庭ごみ処理経費の内訳（平成 28 年度実績）

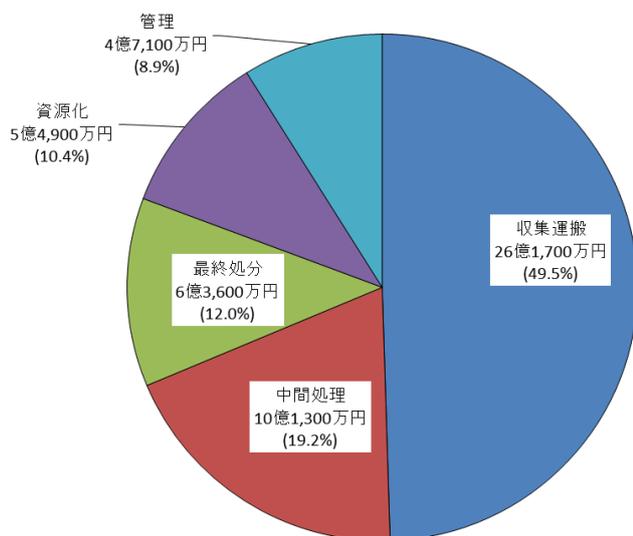
種別	金額	単位	備考
収集運搬	2,617	百万円	クリーンセンターの運転管理費及び収集運搬業務委託料
中間処理	1,013	百万円	環境工場の運転管理費
最終処分	636	百万円	扇田環境センターの運転管理費
資源化	549	百万円	資源化処理業務の委託料
管理	471	百万円	管理部門の人件費及び物件費
合計	5,286	百万円	
一人当たり処理コスト	7,541	円/人	収集人口 700,960 人
一トン当たり処理コスト	39,577	円/トン	家庭ごみ処理量 133,562 トン

図表 処理手数料等収入の内訳（平成 28 年度実績）

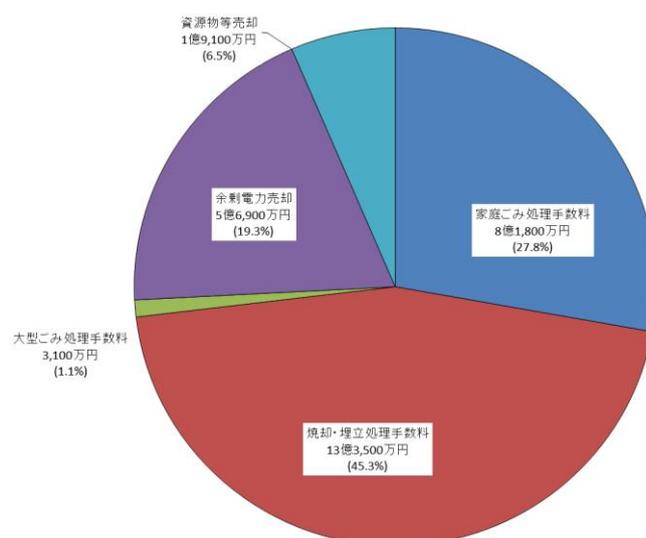
種別	金額	単位	備考
家庭ごみ処理手数料	818	百万円	
焼却・埋立処理手数料	1,335	百万円	
大型ごみ処理手数料	31	百万円	
余剰電力売却	569	百万円	東部環境工場:47,120(千 kWh) 西部環境工場:30,035(kWh)
資源物等売却	191	百万円	
合計	2,944	百万円	

※西部環境工場の余剰電力売却収入については、再生可能エネルギー対象分のみ市の収入としています。

家庭ごみ処理経費の内訳



処理手数料等収入の内訳



3) 熊本地震による影響

①施設の被害状況（平成 29 年 8 月時点）

No	名称	施設の復旧費用(千円)	復旧完了(予定)日	施設被害の概要
1	西部環境工場	113,940	H29 年 3 月	地盤沈下、各種設備の破損。
2	東部環境工場	1,014,321	H29 年 3 月 三山荘に ついては未定	環境工場:壁パネルの落下、屋根損傷による漏水、各種設備の破損。 三山荘:屋根瓦の破損。
3	扇田環境センター	37,088	H29 年 3 月	計量施設の損傷、法面・堰堤の崩壊、遮水シートの破損。
4	秋津浄化センター	7,441	【H29 年 3 月 施設閉鎖】	場内道路の陥没、汚泥移送配管・外壁ブロックの破損、煙突の傾き。
5	北部クリーンセンター	—	—	—
6	西部クリーンセンター	—	—	—
7	東部クリーンセンター	8,300	H29 年 9 月	屋上防水層の破損。
8	戸島ふれあい広場管理棟	—	—	—
9	扇田ふれあい広場管理棟	—	—	—
合計		1,181,090		

②避難所の開設状況（避難所を開設した施設のみ記載）

No	名称	避難所運営期間	避難者の最大人数	避難者の延べ人数
1	西部環境工場	4 月 16 日 ~ 6 月 17 日	350	2,912
合計			350	2,912

4) 既存計画の概要

①環境工場の更新等について

○これまでの経緯

・施設設置経過

都市ごみがライフスタイルの変化等とともに多様化、増加しつつあるなか、昭和 61 年に竣工した西部環境工場（450 t / 日）と平成 6 年 3 月に竣工した東部環境工場（600 t / 日）の両工場（合計処理能力 1,050 t / 日）で可燃ごみの全量焼却体制を維持してきました。

東部環境工場は、法令の新たな規制に対する適合を図るため平成 12・13 年度で飛灰処理設備改修工事を実施し、老朽化対策として平成 18 年度から平成 22 年度までの計画で基幹的施設整備を実施しました。

老朽化が著しい西部環境工場は、代替施設の整備を進め、平成 23 年度に事業用地の取得、代替施設の整備・運営を公設民営（以下 DBO）方式で実施する民間事業者の選定を行い、平成 24 年度に建設工事に着手し、平成 28 年 3 月より稼動を開始しました。

新施設の処理規模は、これまでのごみ減量化の推進により市全体のごみ排出量が減少したため、450 t / 日から 280 t / 日に縮小しました。

東部、西部両環境工場は、ごみ焼却余熱を利用して発電を行う発電所であり、合計 16,200 k w の発電能力を持ち、場内及び西区役所等の市関連施設に電力を供給し、余剰電力は電力会社に売却しています。

さらに、余熱の用途として、西部環境工場は周辺農業用ハウスに加温用温水を供給し、東部環境工場は健康増進施設「三山荘」及び「東部交流センター」に温水を供給しています。

・施設整備・運営方法の経過

これまで環境工場の建設は土木、建築、建築設備、プラント設備の各工事種別に分けて一般競争入札により工事発注を行い、運営も直営で行ってきました。一般廃棄物処理施設の維持管理コストは経年ごとに増加する傾向があり、長期的な運営計画の中でのコストダウンが必要となってきました。

このため、昭和 61 年の竣工後、30 年を経過し老朽化が進んだ西部環境工場の代替施設整備については、市が資金調達を行い、民間事業者が設計から建設・運営・維持管理を一括して行う DBO 方式を採用しました。

DBO 方式により、本施設を整備し、施設の完成後約 20 年間にわたって運営することで、一般廃棄物処理施設の有効かつ効率的な整備と民間ノウハウを活かした長期間にわたる良好な運営を図ることが期待されます。但し、当初の運営委託期間は 20 年としていますが、適切な維持管理を実施することで、施設の運用は 35 年間で予定しています。

本事業の契約時の事業総額は 166 億 9500 万円（施設整備費 112 億 9,800 万円、運営費 53 億 9,700 万円）となっています。市が自ら実施する場合と落札者の提案に基づき DBO 方式で実施する場合を比較すると、後者の場合、事業期間を通じた市の財政負担額は、28.3%（現在価値換算後）縮減することができます。

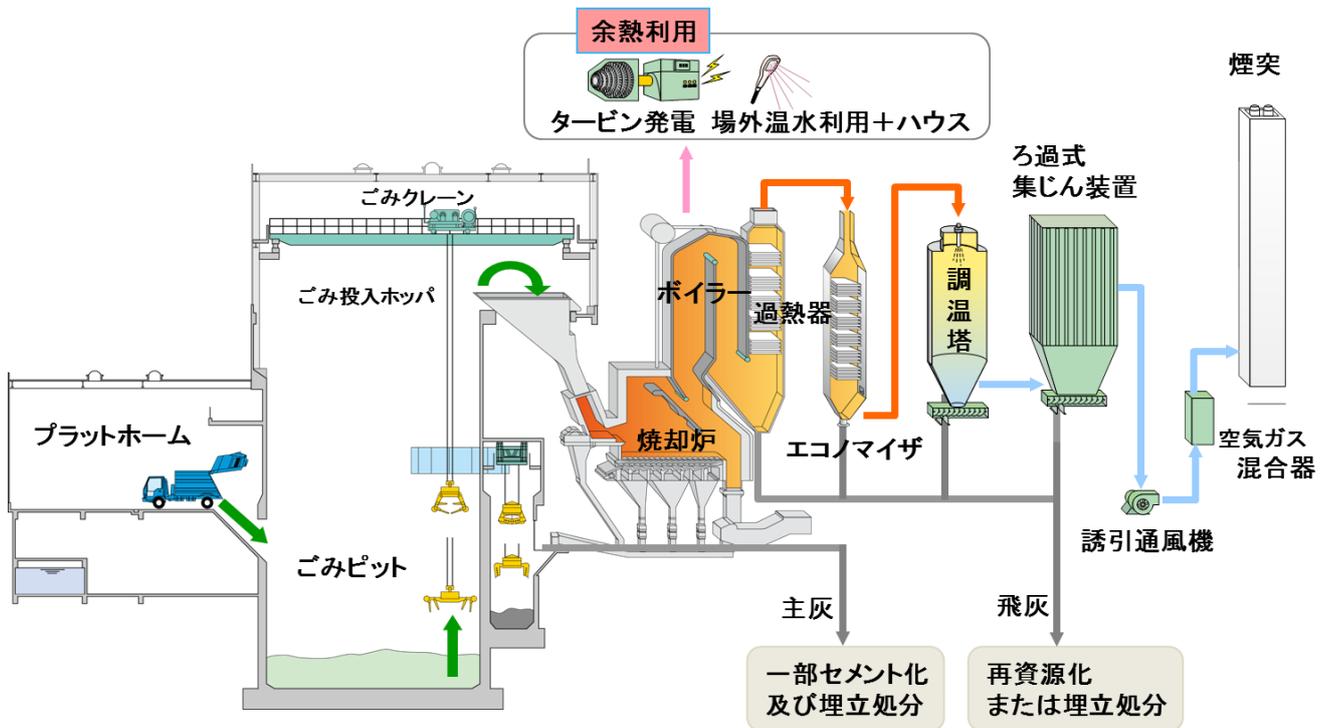
○今後の対応

東部環境工場は、平成6年の共用開始後21年間が経過しています。この間、施設の老朽化対策として基幹の整備や定期的なオーバーホール等を実施してきましたところですが、このような一般廃棄物処理施設の耐用年数はおおむね30年とされており、現在、喫緊の課題として「将来の東部環境工場のあり方」について調査検討を進めているところです。

一方、平成27年度末に供用開始した西部環境工場については、民間事業者による資金・ノウハウを活用したDBO方式で整備・運営しており、長寿命化計画に基づいて維持管理が行われています。そのため、その運営や維持管理手法について、本市技術職員によるモニタリングを行っているところです。

将来の東部環境工場のあり方については、西部環境工場のモニタリング結果等を踏まえながら、より効率的でリスクの少ない整備・運営方法を総合的に検討していく必要があると考えています。

②環境工場のごみ処理フロー



5) 総合管理計画における施設分野別方針

方針1	資産総量の適正化
<ul style="list-style-type: none"> ・更新や改修に多額の費用を要することから、長期的視点に立った管理計画を策定します。 ・クリーンセンター等については、収集体制の見直しや民間委託の状況を踏まえ、必要性も含めて今後の対応を検討します。 	
方針2	施設の長寿命化の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・環境工場については、躯体のみならず、多数の設備を有していることから、部位の特性に応じた長寿命化策を検討し、できるだけ長く施設を使えるような取り組みを進めます。 	

(25) その他の施設

1) 施設概要

本市のその他の施設は、9 施設あります。総延床面積は約 5 万㎡で、市が保有する施設の 1.9%を占めています。

築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 2 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 3 施設、築 20 年以下が 4 施設です。

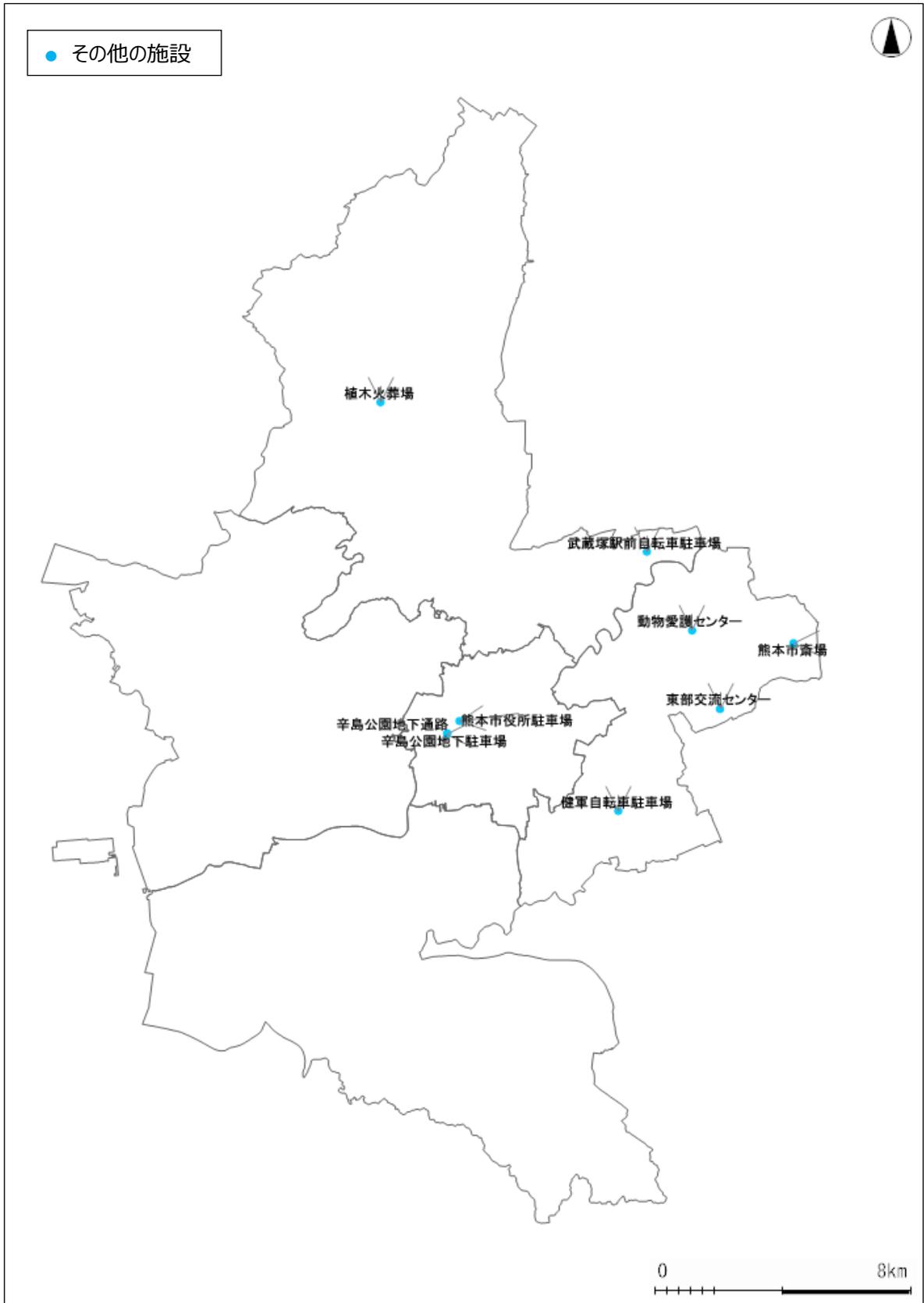
①施設一覧（平成 29 年 4 月 1 日現在）

No	名 称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積 (㎡)	運営時間	休館日
1	辛島公園地下駐車場	中央区辛島町 1 番地下 1 号	平成 4 年	25	22,224.91	7:00～25:00	無休
2	辛島公園地下通路	中央区辛島町 1 番地下 1 号	平成 4 年	25	1,314.51	7:00～25:00	無休
3	熊本市役所駐車場	中央区下通 1 丁目 1 番 8 号	昭和 54 年	38	11,203.00	8:30～22:00	1 月 1 日
4	武蔵塚駅前自転車駐車場	北区武蔵ヶ丘 6 丁目 1530 番地 2	平成 6 年	23	1,638.38	5:15～24:00	1 月 1 日～3 日
5	健軍自転車駐車場	東区若葉 1 丁目 36 番 6 号	平成 10 年	19	2,552.31	6:00～24:30	1 月 1 日～3 日
6	熊本市斎場	東区戸島町 796 番地	平成 11 年	18	4,970.33	8:30～17:15	1 月 1 日
7	植木火葬場	北区植木町滴水 628 番地 1	昭和 56 年	36	205.19	8:30～17:15	1 月 1 日
8	動物愛護センター	東区小山 2 丁目 11 番 1 号	平成 25 年	4	1,070.97	8:30～17:15	土曜日・日曜日・ 祝日・年末年始
9	東部交流センター	東区戸島町 2588 番地 1	平成 19 年	10	1,088.77	9:00～22:00	毎週火曜日 (祝日に当たるとき は次の平日)・ 年末年始
合 計					46,268.37		

※市役所駐車場について、地上 1 階地下 1 階部分（床面積 3,201.80 ㎡）は、民間企業による管理

②配置状況

図表 施設配置図：全体（平成 29 年 4 月 1 日現在）



その他施設は、市内に 9 施設整備されています。

2) 実態把握

① 駐車場の利用状況等

市営駐車場利用台数 (単位：台)

	H24	H25	H26	H27	H28
辛島公園地下駐車場	313,438	308,301	317,347	217,372	198,758
熊本市役所駐車場	338,726	331,643	318,671	340,589	396,323
計	652,164	639,944	636,018	557,961	595,081

市営駐車場使用料収入 (単位：千円)

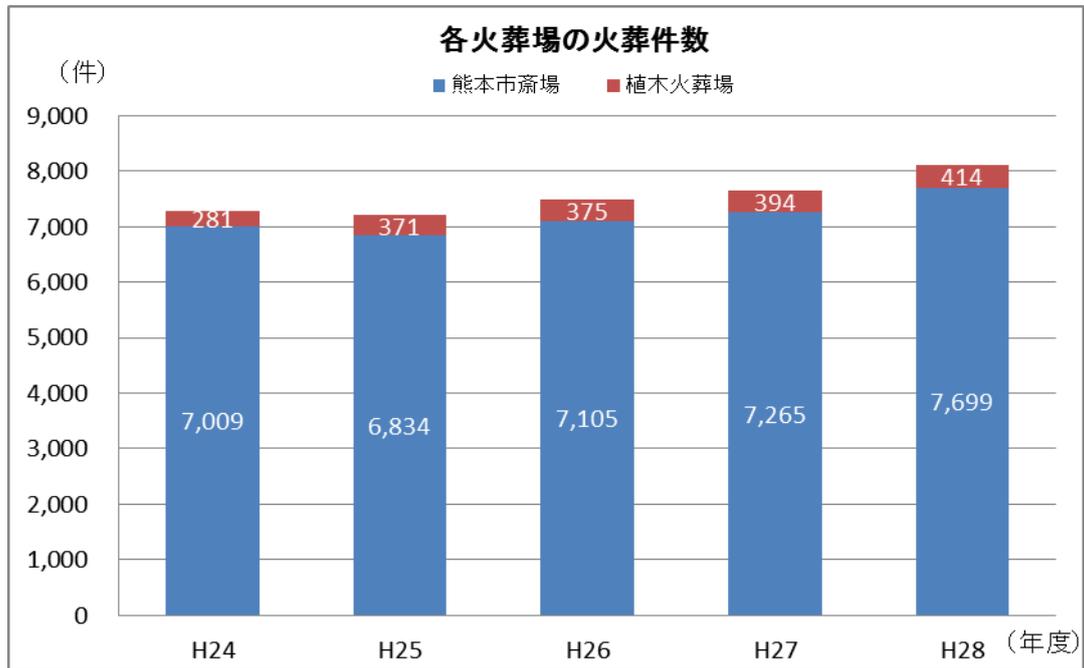
	H24	H25	H26	H27	H28
辛島公園地下駐車場	159,611	159,984	165,879	173,824	173,456
熊本市役所駐車場	54,110	52,485	49,366	54,498	81,741
計	213,721	212,469	215,245	228,322	255,197

辛島公園地下駐車場特別会計決算額 (単位：千円)

		H24	H25	H26	H27	H28
歳入	使用料及び手数料	159,610	159,984	165,879	173,824	173,456
	繰入金	129,500	99,750	43,200	0	17,200
	繰越金	944	982	938	890	3,694
	諸収入	1,487	3,606	118	243	1,099
	歳入計	291,541	264,322	210,135	174,957	195,449
歳出	駐車場事業費	193,826	177,529	166,318	171,263	182,858
	公債費	96,734	85,854	42,927	-	-
	歳出計	290,560	263,383	209,245	171,263	182,858
実質収支額		981	939	890	3,694	12,591

②火葬場の利用状況

図表：各火葬場の火葬件数



③動物愛護センターの利用状況

図表：動物愛護センターにおける犬の登録・予防接種・捕獲処分状況（単位：頭）

	H24	H25	H26	H27	H28
登録総数	38,624	38,781	37,944	34,599	34,352
予防接種	25,600	24,770	24,183	23,649	20,358
捕獲保護	420	423	366	361	356
不要犬引取り	11	4	6	18	13
計	431	427	372	379	369
返還	252	222	222	212	248
譲渡	148	154	151	129	139
処分	7	5	0	22	10
計	407	381	373	363	397

3) 熊本地震による影響

①施設の被害状況（平成 29 年 8 月時点）

No	名称	施設の復旧費用(千円)	復旧完了(予定)日	施設被害の概要
1	辛島公園地下駐車場	156,119	H30 年 3 月	内壁、床面、天井等の亀裂及び浸水など。
2	辛島公園地下通路	—	—	—
3	熊本市役所駐車場	17,920	未定	被災度区分判定:「小破」、外壁パネルの脱落、壁ブレースの破断、鉄骨外部階段の接合部損傷など。
4	武蔵塚駅前自転車駐車場	—	—	—
5	健軍自転車駐車場	—	—	現在被災調査中
6	熊本市斎場	313	H29 年 3 月	内壁の亀裂等。
7	植木火葬場	—	—	—
8	動物愛護センター	67,022	H30 年 10 月	擁壁及び外壁の崩落、敷地内の地割れなど。
9	東部交流センター	58,500	H30 年 3 月	外構
合計		299874		

②避難所の開設状況

その他の施設分野の施設において、避難所の開設は無し。

4) 総合管理計画における施設分野別方針

方針 2

施設の長寿命化の推進

- ・各施設の設置目的に応じて、利用状況や必要性について検討し、今後の方向性を決定します。
- ・設備を有する火葬場や動物愛護センターについては、適切なメンテナンスによって、施設の長寿命化を図ります。